

## 第2回議会だよりモニター連絡会議 報告書

【開催日時】 令和6年2月2日（金） 午後7時～

【開催場所】 諏訪市役所5階 大会議室

【出席議員】 （委員長）井上 登 （副委員長）森山 博美

藤森 綾子・牛山 実弦・大津 学・小山 博子

近藤 一美・藤森 靖明・岩波 万佐巳・吉澤 美樹郎

牛山 正・伊藤 浩平

【議会だよりモニター】 出席者 8人

【協議内容】 1 議会だよりについて

2 議会だよりモニターの今後について

### 1. 今までの議会だよりの感想

#### 表紙について

- ・表紙は手に取りやすく、（吉岐市の議会だよりのように）インパクトのあるもの、もっと若い人たちの目を引くような。
- 市広報では市民の表紙もあるが、議会だよりは議会の表紙に限定している。
- ・手に取ってもらえるような表紙の工夫が必要。
- ・知り合いが写っている。町の名所・各高校の文化祭の写真などを表紙にしたらどうか。
- ・子どもたちが書いた絵を表紙にしたらどうか。

#### 見出し等

- ・週刊紙のような見出し。
- ・見出し、タイトル等色分け出来ていてわかりやすい。
- ・議会の傍聴やかりんちゃんねるを視聴しない人のことを考えて、見てもらえるように。
- ・議会はむずかしい。言葉がむずかしい。専門用語が市民にはわからない。何を伝えていくのか、ここは分かってほしいという所を読んでもらう工夫。長野日報に出ていることは「あ～」と見ても、議員の視点でそういう所も表現してほしい。
- ・方言で書く。
- ・情報が多くて読みにくい。内容が盛り沢山すぎて読むのにとっても時間とエネルギーがいる。活字が多く読む気がしない（時代は活字離れ）。字ばかりは読みづらい。空間をとる（吉岐市の議会だよりのように）。今の諏訪市の議会だよりは字が詰まっている。

→質問は、議長を除く14名全員がする（他市は半分の所も）ので掲載せざるを得ない。書く方は情報を増やしたい。

- ・何を言いたいのか考えながら読んでいる。時間がある人は読めるが、30～40代は忙しくて読めない。60代以上は読むかもしれないが。

- ・関心があれば、気になることがあれば見るかも知れないが、そうでないと流し読みしてしまう。

- ・未来を担う子どもたちは存在も知らないのでは。素晴らしいものなのにもっていない。長野日報の子ども新聞のような分かりやすい（小学生でも分かるような）ペーパーを作ったらどうか。子ども向けに作れば親にも届く。

- ・今どんな問題があるか箇条書きやザックリ書いた方が分かるかな。（あーそうなんだー。文化センターが問題なんだー）

- ・まだ顔と名前が一致しない。「私たちの街を代表する議員はどんな人か」書いても。

- ・議会だよりは、選挙や何か気になることがあると見ていた。「こんなに読んでなかったんだ…」と思った。

- ・議会だよりは存在を知らなかった。社協だよりとかは身近だが、議会となると…むずかしい言葉があったり、右から左。モニターになって大丈夫かなあ、皆さん分かるのかなあ、一般人には全部解説してもらってもいいかも。

- ・分かりやすければ、いい紙でなくわら半紙でもいいくらい。

- ・市広報に「いま議会では」をペライチで入れる。「詳しくは議会だよりを見てね」と付記。

- ・1つの問題について「私（議員）の意見」みたいなページがあってもいい。「このことを聞こう」という議員も出てくる。

- ・議会だよりの中身は素晴らしいものになっていて読みたいと思うが読むきっかけがなかった。

- ・モニターになったから強制的に読むことになった。

- ・グラフが帯だと円グラフよりわかりやすい。

- ・一般質問の「問」「答」の内容がコンパクトになっているため理解しづらい。

- ・行政視察が石川県かほく市、七尾市、小松市ということで、この視察が10月ということであらためて心にしみる。

## 2. 今後の議会だよりモニターの在り方

- ・評価を5段階ではなく点数にする。5段階ではよい方に偏ってしまう。
- ・中身を読まないとわからないクイズやアンケートを付けたらどうか。
- ・QRコードで回答する形にすると若い世代が対応しやすいと思う。
- ・ポイントがもらえるような工夫。
- ・モニターの数を増やすことで読む人が増える。
- ・いろいろな若い世代（高校生・大学生など）のモニターもよいのではないか。
- ・今諏訪市の直面している方向性や困難さなど、強く呼びかけられたら良いと思います。
- ・議会モニターへの移行。